

女性天皇の時代

女性天皇を輩出した時代（592～770）

代	名称	在位	即位資格	治世	代	名称	在位
33	推古	36年	30代敏達天皇の妃	592年崇峻天皇暗殺 即推古就位 称徳太子を摂政に起用政治的安定	34	舒明	12
35	皇極	3年	34代舒明天皇の妃	中大兄皇子の行動を母として支持	36	孝徳	9
37	斉明	6年	前天皇（重祚）	自身の感性か、娘、孫と同一墓所	38	天智	3
41	持統	7年	40代天武天皇の妃	草壁皇子望むも本人早世 天武の 築いた土台を持統が継承・完成	39	弘文	1
43	元明	8年	天武一持統の子草壁の母	文部の早期自立、だが文部も早世	40	天武	13
44	元正	9年	草壁の子文部天皇の妃	文部の子首、（聖武天皇）の自立	42	文武	10
46	孝謙	9年	45代聖武天皇の娘	政治経験豊富、17歳で皇太子	45	聖武	25
48	称徳	6年	前天皇（重祚）	藤原仲麻呂の乱、道鏡事件 仏門入信、生涯独身	47	淳仁	6
累計		84					79

女性天皇時代の功績全般

（１）推古天皇時代（592～628）

称徳太子を摂政に起用、36年間に渡って政治的に安定

（２）皇極・斉明天皇時代（642～661）中大兄皇子をサポート

外交に尽力、宴遊池のための土木工事は民衆から不評、争乱多発

（３）天武・持統時代（672天武が着手、持統が継承・達成）

①身分制の安定：8種の姓 ②都城建設：飛鳥京ー藤原京

③律令制：「大宝律令」完成 ④外交：新羅、唐との交流

（４）元明・元正（707～724）①必死の男子への継承リレー

②712年古事記、720年日本書紀の完成

（５）孝謙・称徳（741～770）①聖武からの継承 ②道鏡事件

③藤原仲麻呂の乱④自身は仏教へ入信、帰依

女性天皇就位多発の時代も発生する争乱

年	争乱名	内容
587	丁未の乱	崇仏派蘇我氏が廃仏派物部氏に勝利
592	崇峻天皇暗殺	蘇我馬子が崇峻天皇暗殺、ただちに推古即位
643	山背大兄王自害	称徳太子の子、自害のやむなきに
645	古人大兄王殺害	乙巳の変の結果蘇我氏が支援した古人の殺害
649	蘇我倉石川麻呂自害	乙巳の変で味方したはずの人物も殺害された
654	孝徳の子有間皇子殺害	乙巳の変で皇位についた孝徳天皇の子も
686	大津皇子の反乱	天武死去と同一タイミングに大津の反乱容疑
764	藤原仲麻呂の乱	孝謙天皇の道鏡偏重を妬んだ反乱→鎮圧

乙巳の変

645年

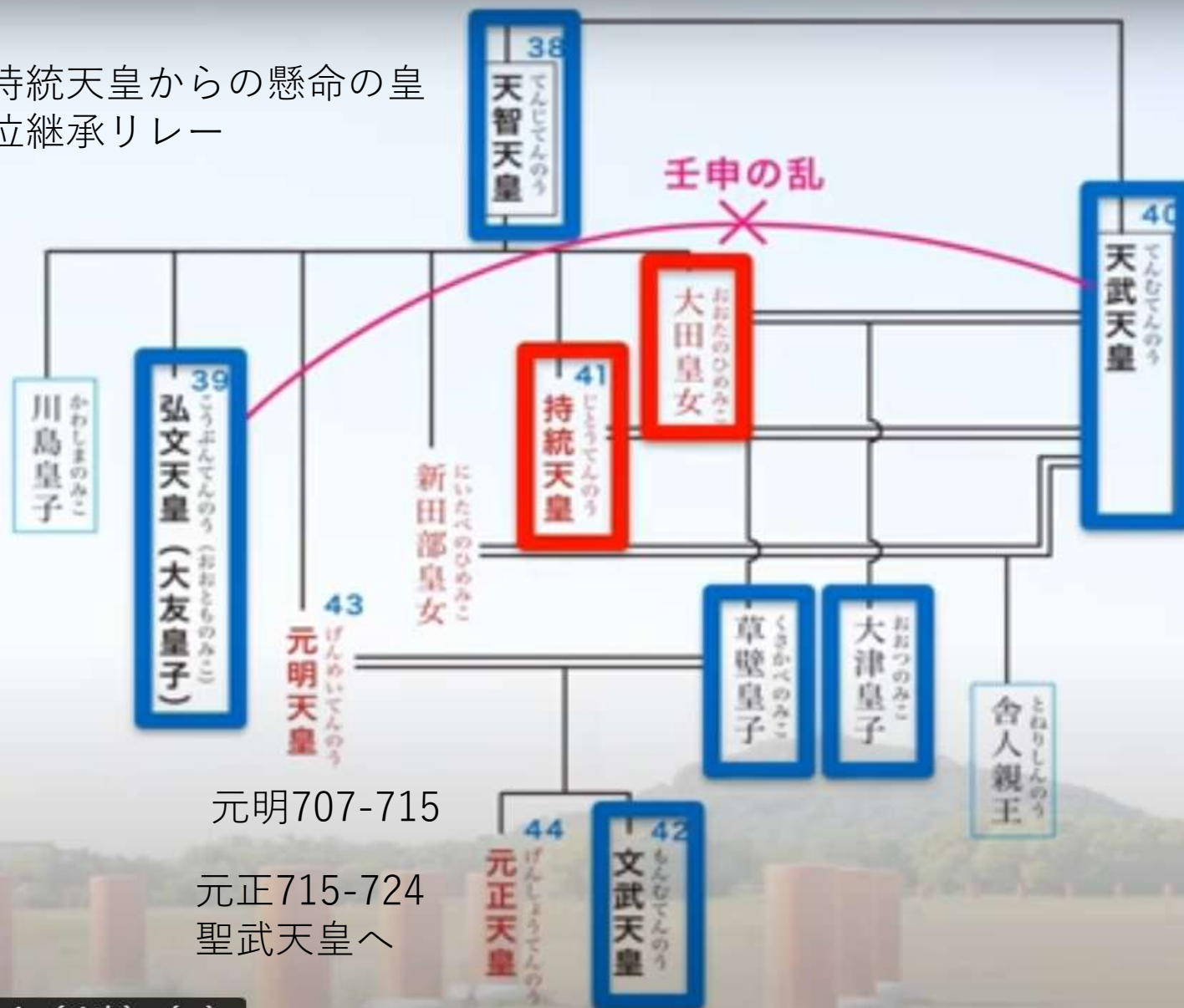
白村江の戦

663年

壬申の乱

672年

持統天皇からの懸命の皇位継承リレー



686年9月
天武天皇崩御

686年10月 24歳
大津皇子を殺す

689年 27歳
草壁皇子薨去

690年 45歳
持統天皇即位
死去退位時58歳

即位時14歳薨去時
25歳、首皇子6歳

697年
文武天皇へ譲位

元明707-715

元正715-724
聖武天皇へ

ミュート (消音) (m)

持統天皇退位以降の継承リレー

文武天皇	就位：697 死去退位：707	生誕683年、即位時14歳	701首皇子（後の聖武天皇）誕生、
元明天皇	就位：707 退位：715	生誕：661年 没年：721年、61歳	文部天皇の母
元正天皇	就位：715 退位：724	生誕：680年 没年：748年、69歳	文部天皇の姉（生涯未婚）
聖武天皇	就位：724 退位：749	生誕：701年 没年：756年	727年基親王誕生も1歳で早世
孝謙天皇	就位：749	生誕718年	生涯未婚、仏教への入信、17歳で皇太子
称徳天皇	死去退任：770	死去退任時53歳	道鏡事件、藤原仲麻呂の乱

持統天皇の評価

遠山美都男

「天智と持統」

学習院大学教授

持統天皇は父親である天智の政治手法を踏襲して自分の統治を行った、との意見

女性天皇も政治においての手法は男性と異ならなかった。

義江明子

「天武天皇と持統天皇」

東京都立大学卒、女性史専攻、帝京大教授

持統天皇は夫の天武天皇と共に政治課題にあたり天武亡き後課題を完成させた、と功績を讃える

野口王墓は天武一持統合葬陵と伝わる。

里中満智子

「天上の虹」漫画 全11巻

漫画家 少女コミックとして連載をスタートしたが、成人の反響大きく意識する対象切り替え

多くの政治課題を抱える中で対配偶者、子供など女性としての視点を重視した天皇として評価
天皇ではあるものの愛したい愛されたい女性かつ草壁皇子を支援する母親としての存在を重視

「天上の虹」は30年間を要した労作である

元明、元正、孝謙・称徳天皇の評価

<p>高木きよ子 「八人の女帝」 元明天皇の部</p> <p>お茶の水女子大学教授</p>	<p>天智天皇第4皇女 草壁皇太子の妻 文部天皇の母 在位期間707～795に奈良時代となる。文部天皇死去に際し皇位につく。即位時47歳 皇太子首（後聖武天皇）元服を機に娘の元正天皇に譲位。簡素にして質実な人柄であると評価 享年61</p>
<p>高木きよ子 「八人の女帝」 元正天皇の部</p> <p>お茶の水女子大学教授</p>	<p>元明天皇の子 文部天皇の姉 即位時36歳 聡明で慈悲深い天皇として評された。生涯、独身</p>
<p>玉岡かおる 「天平の女帝孝謙・称徳」</p> <p>作家 女性ではあるものの強く生きようとする人物と描く</p>	<p>父、聖武天皇の皇太子に17歳の時就任。政治経験豊富 仏教への帰依心厚く天皇でありながら仏門に入る 途中淳仁天皇への交代があったが、藤原仲麻呂の乱を乗りきって称徳天皇として政治の表舞台に戻る。世に道鏡事件で有名。 在世中藤原仲麻呂の乱起こる。</p>

日本における女性天皇の存在の再評価

- 1、126代を数える日本の天皇のうち女性天皇は8人・10代
(江戸時代、明正天皇、後桜町天皇の2人が存在した)
- 2、リーダー、最高権力者としての役割を果たしつつ中天皇
(男子継承までの天皇)の意識はどなたも保持されてきた。
- 3、女性天皇故の特色と見られる行動もあり(牽牛子塚古墳、越塚御門
古墳、天武・持統合葬陵など)皇室典範が存在する現在でも男系男子
の規定にそぐわない感を持つ人も多く存在する
(共同通信90%女性天皇容認、読売皇室典範改正賛成69%
欧州各国の王室制 長子相続)